



結婚してたまるか！ 赤い池のみぞ知る、美女の苦悩

「小沼は山に取りかこまれた、ひっそりと静かな沼で、水面は明るい。あまりに明るく、あまりに静かなので、却って底気味の悪い気配のしたことを覚えている」

『日本百名山』で著者の深田久弥がそう記した赤城山の小沼の隣に、ひっそりと「血の池」という不穏な名の池があります。条件が揃った時だけ一面に赤い水をたたえる幻の池が出現するのだとか。

伝説では、言い寄る男に無理難題を掲げては退ける美女が池の近くにいて、ついに課題をクリアした男が現れるや、何が何でも結婚したくない彼女は自死。その血が池を赤く染めたという驚きの結末ですが、実はプランクトンの大発生が真の原因だそうです。

現在の血の池は、1年のほとんどは水がなく草原になっています。私は学生時代から何度も訪れていますが、赤く染まった池の光景をまだ見たことがありません。チャンスは梅雨から秋。今年こそ赤い池に会えるでしょうか。

「赤い池」アラカルト



血の池地獄

赤くたまっているのは水ではなく、酸化鉄、酸化マグネシウムを含んで赤く化学反応した熟泥が噴出、堆積したもの。

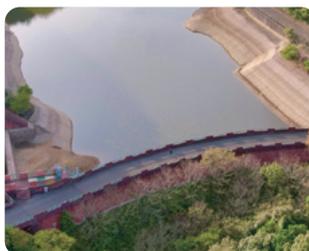
●大分県別府市



西谷西池

アゾラ・クリスタータという外来性の水草が繁茂した池は、まるで赤のカーペットを敷き詰めたような光景になっている。

●兵庫県姫路市



新滝の池

池を堰き止めるダムが真っ赤というのも何ともしア。でも実はツートンカラー。周辺は散策スポットとしても人気。

●大阪府泉佐野市

市原千尋

文・イラスト・写真



Profile

全国2,600基のダムを含む日本の主要な池や湖沼11,000か所を車中泊で踏破。訪れた池の魅力を毎日ブログで発信。著書に『日本全国 池さんぽ』(三オブックス)。



【運営ブログ】水辺漫路
<https://bunbun.hatenablog.com>